

今後の方向性について

シナリオ 1 新たな財源を確保しない場合

- ・限られた財源に見合った観光事業を展開する。
- ・市は引き続き国からの交付金等の活用に取り組むが、その性質上、単発的な取組みになりやすく、用途の制約も受けざるを得ない。

シナリオ 2 新たな財源を確保する場合

- ・新たな財源を確保し、継続的に観光振興に投資する。
- ・その場合、用途を協議する仕組みを構築することも可能である。
- ・また、効果検証をオープンに行い、定期的に事業の見直しを行う。

<観光地が直面する環境変化（例）>

- ・地域間競争の激化
- ・二次交通の確保、充実
- ・担い手の確保
- ・インバウンド対応
- ・デジタル対応
- ・専門職大学の開学をきっかけとした新しい観光地域づくり
- ・環境への配慮 など